



私と丹波山村

平成元年、自然の好きな仲間が集まって、魚や両生類の調査を目的に「やまなし淡水魚研究会」を作った。そのメンバーの1人にカエルやサンショウウオなど両生類の研究をしている丹波中学校教諭の湯本光子先生がいた。先生から丹波川に最近発見されたナガレタゴガエルという新種のカエルがいると聞き、早速見に行くことにする。

晩秋のある日、丹波川の支流に入りいくつか滝を乗り越え、目的のカエルに会いに行った。カエルには会えたが、昼過ぎから降り出した雨が強くなり、谷を下るのは危険なので、尾根まで登って下山する。しかし、稜線に出た時はもうあたりは薄暗く、下るにつれて手探り状態となる。しばらく下って国道を通る車の音が聞こえた時は、全員ほっとして座り込んでしまった。

こんな目に遭いながらも丹波川に通うのは、その時出会った不思議なカエルと産卵のために遡上してくるイワナやヤマメの群を見たかったからだ。翌年からカメラを持って丹波川通いが始まる。水の中だけでなく、来る度に違う顔を見せてくれる渓谷の風景もたまらない魅力であった。

同じ県内でも八ヶ岳山麓に生まれた私にとって、丹波山村は県外と同じくらいの遠い存在であった。現在住んでいる甲府からでも初めて丹波山村に来た時は、ずいぶん遠く感じられたが、今では「ちょっと丹波まで行って来る」という距離になった。実際自分の実家に帰るより、丹波山に来る方が多く、どちらが故郷かわからない。



村松 正文

MURAMATSU Masafumi
Judge of Taba's Four Seasons' Photo Contest

丹波の四季写真コンクール審査員、南アルプス倶楽部会員、日本山岳写真協会会員、山岳写真の会白川峰特別会員、日本高山植物保護協会会員、やまなし淡水魚研究会会員、著書に「山梨の花」「南アルプスの花たち」(山梨日々新聞社発行)ほか多数。

Tabayama Village and I
"Yamanashi Fresh Water Fish Society" is established in 1989, and I first visited Tabayama Village with Ms. Mitsuko Yumoto to see "Nagaretago frog" newly discovered in Taba River. After that, I visit Tabayama to see char and yamame trout more frequently than I go to my home town.



産卵場所に向かって遡上するイワナ
(11月上旬・丹波川支流で撮影)